

# 秋葉山しんぶん

創刊  
第1号

白山・秋葉神社の獅子神楽の復活と、秋葉山の整備を進める研究会が発足しました！  
平成22年9月30日号 発行：NPO 赤目の里山を育てる会 <http://akame-satoyama.org/>



## ごあいさつ ~文化庁「地域伝統文化総合活性化事業」に上三谷区が採択されました！~

このたび、“地域の伝統文化を活かしたまちづくり”を推進する、文化庁地域伝統文化総合活性化事業( )に上三谷区が採択され、白山・秋葉神社の獅子神楽の復活と秋葉山の整備を進めていくことになりました。

また、これにともない、地元の区長さんをはじめとする住民の方、行政、有識者など、さまざまな立場の人たちが集まった研究委員会が発足しました。

獅子舞などの復活を通して地域内外の人たちとの交流の機会をつくり、地域の活性化に貢献できるような活動に取り組んでまいります。約50年前に途絶えた獅子舞が上三谷のお祭りで再び舞い、人が行きかう地域になりますよう、ご協力をお願いいたします！

NPO 赤目の里山を育てる会 理事長 伊井野雄二

## 研究委員会がスタートしました！

委員会では、2010年8月に、白山・秋葉神社の歴史や獅子舞などについて調査を行い、同年9月11日に第一回研究会を開催いたしました。

### 研究委員のご紹介（以下、順不同、敬称略）

【地元代表者】北川 義勝（区長） 北川 昇（山林所有者）  
谷川 健（上三谷地区 郷土史家）

【近隣関係者】森 哲夫（竜口区長）

【神社関係者】佐久真 みゆき（白山・秋葉神社宮司）

【有識者】櫻井 治男（皇學館大学社会福祉学部 学部長）  
尾本 頼彦（能楽研究者、相愛大学非常勤講師、  
名張こども能楽囃子教室）

【行政関係者】山口 浩司（名張市総務部総務室史編纂担当）  
萩田 敏文（名張市地域政策室長）

【事務局】伊井野 雄二（赤目の里山を育てる会理事長）  
佐藤 利明、中村 良三（プラネット・フォー  
まちづくり推進機構）

### 特別ゲスト

今回の委員会では、元国務大臣(防衛庁長官、環境庁長官)の  
愛知和男氏が、特別ゲストとして参加されました！

### 委員会で主に決定したこと、課題など

#### 【委員会で決定したこと】

来年の鎮火際(1/16)を目標に、赤目の森に集う若者と、  
地元の若者が協働で獅子舞・太鼓の復興に取り組む。  
上三谷の伝統文化をテーマとするフォーラムを開催する。

#### 【課題】

獅子舞の舞い手の確保、獅子舞の記録のとり方、フォーラ  
ム等の開催場所などが課題として挙げられました。

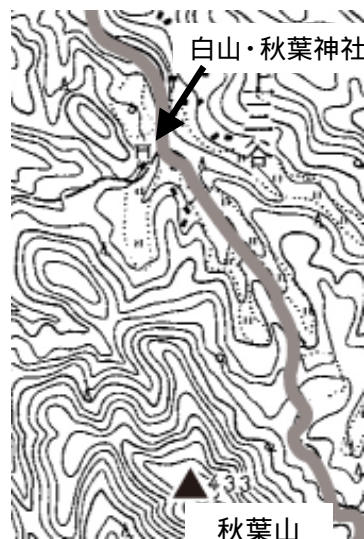


### 【コラム1：白山・秋葉神社の歴史】

白山神社は上三谷村の氏神として集落の字和所に、秋葉神社は火伏せの神様として秋葉山の山頂に、祭られていました。2つの神社は、明治41年に矢川の春日神社に合祀されましたが、戦後の昭和26年に上三谷村に復祀されました。このときから、2つの神社は同じ場所に祭られるようになり、一度引越しをして、現在の場所に祭られるようになったのです。



【明治25年】2万分の1



【昭和43年】2.5万分の1

出展：国土地理院地図

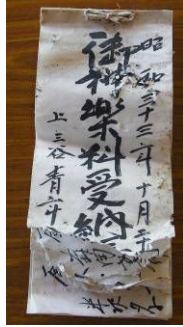
【文化庁 地域伝統文化総合活性化事業】 地域に伝わる伝統文化の活性化や、復興等のため、各地域の主体的、総合的な取り組みを支援することにより、有形・無形の歴史的な文化遺産を活かしたまちづくりや伝統文化の確かな継承と地域の活性化に資することを目的としています。今年度の全国の申請件数は518件、そのうち採択されたのは205件（採択率39.6%）でした。また、三重県では、3つの事業が採択されました。

# 獅子神楽の復活にむけて

## 白山神社の獅子神楽

上三谷区における獅子神楽がいつから舞われていたのかは不明ですが、現存している“御神楽料”の記録によると、昭和33年10月21日までは、青年団によって白山神社の本祭りの祭の“渡り”という儀式に合わせておこなわれていました。

時代の経過とともに、若い担い手が減り、ついには行われなくなった獅子神楽ですが、当時使われていた立派な獅子頭は、今でも大切に神社で保管されています。



## 50年ぶり、獅子神楽を復活させます！

上三谷区最後の獅子神楽経験者である谷川健さんのご指導のもと、黒田区で現役で獅子神楽の太鼓を担当している山口浩司さん、有識者の先生方のご協力を得て、NPO 赤目の里山を育てる会の若手を中心としたメンバーが、約50年間途絶えていた獅子舞の復活に挑戦します！

頑張ります！！



舞い手代表：宇賀神さん

## 今後の研究会の進め方

研究会では、1月の獅子舞の復活にむけて、以下のようなスケジュールを予定しています。その中で、道具の修繕方法を検討したり、獅子舞の記録を取ったり、秋葉山の整備を行ってまいります。各活動の経過については、『秋葉山しんぶん』にて、随時ご報告いたします。

第1回研究会  
(今回)  
9月11日

秋葉の秋祭  
10月11日  
白山神社の本祭  
11月1～3日

第2回、第3回  
研究会  
11～12月予定

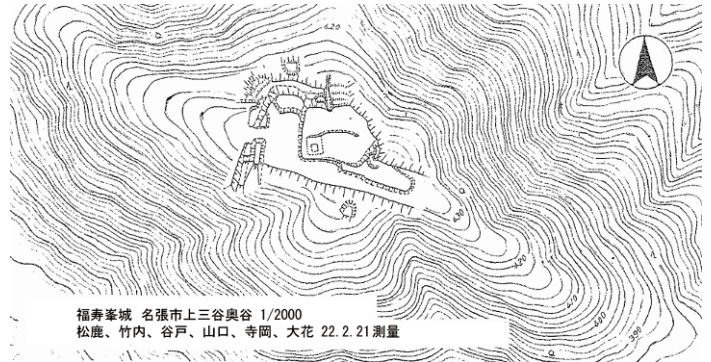
秋葉神社鎮火祭  
1月16日  
獅子舞、太鼓  
復活！

フォーラム開催  
1月下旬～2月上旬  
研究成果報告、  
獅子舞・囃子披露

第4回研究会  
2月  
報告書とりま  
とめ

## 【コラム2：秋葉山の歴史】

秋葉山の山頂には、削平地があり、周辺には土塁や堀切の跡が残っています。かつて、黒田の悪党と言われた土豪によって、砦やのろし場として使われていた様子がしのべられます。



出展：『古城雑記』2010.3.8，伊賀中世城館調査会

また、江戸～明治時代にはこの場所に秋葉神社が祭られており、明治41年に矢川の春日神社に合祀されるまでは、お正月12日と10月の祭日には、参道の入り口に立つ、一の鳥居から、山頂の社殿まで急坂1kmの松並木道は往還の人々で長い行列が続いていたそうです。



山頂の様子：手水鉢跡(左)、屋根瓦(中)、山頂の標識(右)

## 事務局からのお知らせ

事務局がヒアリング調査を実施します。ご協力をお願いいたします。獅子舞・太鼓の復活にむけ、多くの方の参加を募集しています！！地元の皆さん、赤目の里山に集う皆さん、お気軽にお声かけください。赤目の里山を育てる会の担当者紹介この8月から勤務している鶴田亜津佐です。どうぞよろしくお願いたします。



赤目の里山を育てる会事務局：鶴田(通称ツルちゃん)



<お問い合わせ先> 赤目の里山を育てる会 鶴田 TEL:0595-64-0051、mail:tsuruta@akame-satoyama.org